

報道関係者各位

Okta Japan、非営利組織を支援する取り組み「Okta for Good」による、一般社団法人コード・フォー・ジャパンへの支援成果を発表

Okta Japan 株式会社（本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長：渡邊 崇）は、地域社会での課題解決に取り組む非営利組織（NPO）を支援する取り組み「[Okta for Good](#)」の一環として、資金面で援助してきた一般社団法人コード・フォー・ジャパン（Code for Japan、代表：関治之）の取り組みによる成果を発表します。



非営利組織は社会にとって最も重要な活動を行っており、その取り組みを実現し、加速させるためにはテクノロジーが不可欠です。それを踏まえて、「Okta for Good」では、非営利組織のテクノロジー活用を資金的に支援する「[Nonprofit Technology Initiative](#)」を展開しています。このイニシアチブを通じて、非営利組織がテクノロジーの力で、社会が必要とするニーズに迅速に応えることに貢献しています。

このイニシアチブにおいて、日本では Code for Japan が支援先の 1 つとして選ばれ、「Okta for Good」のファンドから、昨年からの 3 年間で 24 万ドルの寄付が提供されることになっています。この支援により、これまでに以下の成果が生み出されました。

1. 「シビックテックアクセラレータープログラム」の開始

「シビックテックアクセラレータープログラム」（Civictech Accelerator Program）は、日本初のシビックテック領域特化型のプログラムとして、シビックテックの社会実装に取り組んでいるプロジェクトを支援しています。第 1 期の取り組みとして、ガイドサポートプラットフォーム「WE UP」を提供する[株式会社 WE UP](#)、オンライン合意形成プラットフォーム「Liqlid」を提供する[株式会社 Liquitous](#) の 2 社が今後の支援先として採択されています。現在、第 2 期の取り組みを展開しています。

2. ソーシャルテクノロジーオフィサー (STO) 創出

社会問題の解決に取り組んでいる NGO に、企業のチーフテクノロジーオフィサー (CTO) のポジションにあたる、ソーシャルテクノロジーオフィサー (STO) の候補となるエンジニアをマッチングさせるプロジェクトを展開しています。これにより、20名の STO 候補を創出し、NGO の DX を支援しています。

3. 新規/継続プロジェクトの開発

Code for Japan が主催するハッカソン「Social Hack Day」を通じて、新規のオープンソースプロジェクトの立ち上げを支援しました。また、継続プロジェクトとして、2016年にバロセロナで誕生したオープンソース参加型民主主義プラットフォーム「Decidim」の日本語ローカライズを行い、クラウドサービスとして自治体等へ提供をしています。

Code for Japan の代表、関治之 氏は次のように述べています。

「Okta for Good の支援により、Civictech Accelerator Program というシビックテックにとって重要な機能を持つプログラムを始めることができました。さらに、社会課題の解決に重要な位置づけであるソーシャルセクターのデジタル・トランスフォーメーションを支援する STO 創出プロジェクトや、オープンソースソフトウェアの新規・継続開発の支援など、心から感謝しています。大きく変革する社会にとって欠かせないであろうプロジェクトを、今後も Code for Japan のコミュニティと一緒にすすめていただけることを心強く感じています。」

Okta Japan 株式会社の代表取締役社長、渡邊 崇は次のように述べています。

「Okta for Good の支援が Code for Japan の素晴らしい取り組みを通じて日本社会が抱える課題解決の一助を担わせて頂いていることを大変嬉しく思います。Okta のビジョンは、全ての人があらゆるテクノロジーを安全に利用できるようにすることです。今後も、Okta for Good の活動を推進し、テクノロジーの力を活用して、組織、個人、コミュニティのつながりを強め、ポジティブな影響を日本社会に与えることを目指してまいります。」

Code for Japan について

Code for Japan は、シビックテック（市民が主体となって自分たちの街の課題を技術で解決する）コミュニティづくり支援や、自治体への民間人材派遣などの事業に取り組む非営利団体です。より良い未来に向けて、立場を超えてさまざまな人たちと「ともに考え、ともにつくる」ための活動を行っていきます。

<https://www.code4japan.org/>

Okta for Good について

「Okta for Good」は、Okta が製品、時間、資本の 1% をソーシャルインパクトのために使うことをコミットした 2016 年から続く取り組みです。より良いエコシステムを生み出すためのテクノロジ

ーを開発し、従業員がチェンジメーカーとなっていくための支援、重要な課題に答える非営利組織の支援などに取り組んでいます。これまでに 500 万ドルの寄付、3,000 以上の組織へのボランティア貢献などが行われてきました。

Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。**Okta** が提供するプラットフォーム「**Okta Identity Cloud**」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,300 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「**Okta Integration Network**」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。**JetBlue**、**Nordstrom**、**Siemens**、**Slack**、武田薬品、**Teach for America**、**Twilio** を含む 15,000 以上のお客様が **Okta** を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

<https://www.okta.com/jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

■ **Okta Japan** 株式会社

広報担当：中田清光

Email: kiyomitsu.nakata@okta.com

■ **Okta PR** 事務局（株式会社プラップジャパン内）担当：山本・中根・富安・藤沢

TEL: 080-9821-6995（山本携帯）、080-6859-3639（中根携帯）

Email: okta@prap.co.jp